

カプチゾール／Advasep 7／SBE-AE-Beta-CD

安全データシート

連邦官報／77 巻、58 号／2012 年 3 月 26 日(月)に基づく／規則および規定

改訂日: 2021 年 4 月 30 日

発行日: 2021 年 4 月 30 日

版番号: 1.2

第 1 章: 製品および会社情報

1.1. 製品識別記号

製品形態: 物質

製品名: カプチゾール／Advasep 7／SBE-AE-Beta-CD

CAS 番号: 182410-00-0

化学式: $C_{42}H_{70-n}O_{35} \cdot (C_4H_8SO_3Na)_n \cdot xH_2O$

カプチゾール: $n=6.2-6.9$

Advasep 7: $n=5.5-7.5$

SBE-AE-Beta-CD: $\text{Beta-CD}-(O-CH_2-CH_2-CH_2-CH_2-SO_3)_n (O-CH_2-CH_3)_{n2}$; $n=3-10$, $n2=3-10$

化学分類: オリゴ糖誘導体

類語: ベータ-シクロデキストリンスルホブチルエーテル、ナトリウム塩 (BCDSBE)

スルホブチルエーテルベータ-シクロデキストリンナトリウム (SBECD)

CP-217、816-02

ベタデックススルホブチルエーテルナトリウム

1.2. 本製品の使用目的

物質／混合物の使用: 主に、賦形剤として使用される。

1.3. 責任者の氏名、住所および電話番号

会社

CyDex Pharmaceuticals, Inc.

2029 Becker Drive, Suite 217

Lawrence, KS 66047

T (858) 550-7850

info@captisol.com

1.4. 緊急電話番号

緊急電話番号 : (858) 550-7850、(858) 550-7500 [時間: 8～5 (中部標準時)]

第 2 章: 危険有害性情報

2.1. 物質または混合物の分類

GHS-US 分類

可燃性粉塵

皮膚感作性 1

H317

H コード (危険有害性情報) の全文: 第 16 章を参照のこと

2.2. ラベル要素

GHS-US ラベル

危険有害性の絵表示 (GHS-US)

:



GH507

シグナルワード (GHS-US)

: 警告

危険有害性情報 (GHS-US)

: 空気中の粉塵濃度が高いと可燃のおそれがある
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある

注意書き (GHS-US)

: P261 - 粉塵の吸入を避けること。
P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280 - 防護用手袋、防護衣、防護眼鏡を着用すること。
P302+P352 - 皮膚に付着した場合: 水で洗うこと。
P321 - 特別な処置が必要である (本安全データシートの第 4 章を参照)。
P333+P313 - 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察／手当を受けること。
P363 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P501 - 内容物／容器を国際的な、および地区、地域、国の規則に従って廃棄すること。

2.3. 分類されない他の危険有害性

曝露により眼、皮膚または呼吸器の既存の状態が悪化するおそれがある。

カプチゾール／Advasep 7／SBE-AE-Beta-CD

安全データシート

連邦官報／77 巻、58 号／2012 年 3 月 26 日(月)に基づく／規則および規定

2.4. 未知の急性毒性(GHS-US)

データなし

第 3 章:組成／成分情報

3.1. 物質

物質名 : カプチゾール／Advasep 7／SBE-AE-Beta-CD
CAS 番号 : 182410-00-0

名称	製品識別記号	%	GHS-US 分類
カプチゾール	(CAS 番号) 182410-00-0	100	可燃性粉塵 皮膚感作性(1, H317)

3.2. 混合物

該当せず

第 4 章:応急処置

4.1. 応急処置の説明

応急措置一般:意識がない人には絶対に口から何も与えない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける(できればラベルを見せる)。

吸入後の応急措置:必要に応じて適切な呼吸用防護具を使用し、曝露者に直ちに新鮮な空気を吸入させる。曝露者に咳をさせて吐き出させ、鼻をかんで粉塵を除去するよう促す。中毒センター、医師または救急医療サービスに直ちに連絡する。

皮膚に触れた場合の応急措置:汚染された衣類を脱ぐ。患部を水で洗う。刺激が起きたり持続したりする場合は、医師の手当てを受ける。

眼に入った場合の応急措置:眼をこすらない。水で 15 分以上慎重に洗う。コンタクトレンズを着けていて簡単に外せる場合は外す。洗浄を続ける。医師の手当てを受ける。

口から摂取した後の応急措置:口をすすぐ。吐かせない。医師の手当てを受ける。

4.2. 最も重要な症状および影響(急性および遅発性)

症状／影響:アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。粉塵は眼、鼻、咽頭および肺に機械的刺激を起こすおそれがある。

吸入後の症状／影響:呼吸器系への刺激を起こすおそれがある。粉塵は有害となるおそれがあるか、刺激を起こすおそれがある。

皮膚に触れた後の症状／影響:発赤、疼痛、腫脹、そう痒、灼熱感、乾燥および皮膚炎。

眼に入った後の症状／影響:眼刺激を引き起こす可能性あり。

口から摂取した後の症状／影響:口からの摂取は有害ではなく、悪影響も生じない可能性が高い。

慢性症状:本物質の慢性影響は不明である。

4.3. 迅速な医師の手当ておよび特別な治療が必要であると考えられる症状

曝露した場合や曝露の懸念がある場合は、医師の診察および手当てを受ける。医師の診察が必要な場合は、製品容器またはラベルを手元に用意する。

第 5 章:火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤:二酸化炭素、粉末消火剤、発泡剤、水スプレー、水噴霧。

不適切な消火剤:高圧水流を使用しない。高圧水流を使用すると、延焼の恐れがある。

5.2. 物質または混合物から生じる特有の危険有害性

火災の危険性:可燃性粉塵。

爆発の危険性:細塵埃は空気中で爆発性混合物を形成するおそれがある。空気中での粉塵爆発の危険性。

反応性:危険有害反応は通常の使用条件においては発生しない。

5.3. 消火士に対する注意事項

火災に対する予防策:化学火災に対処する時は注意すること。

消火に関する指示:曝露された容器を冷却するために水スプレーまたは水噴霧を使用する。

消火時の防護:呼吸器の防護具を含む、適切な防護具を着用せず火災区域に入らない。

その他の情報:粉塵爆発のリスク。

第 6 章:偶発的漏出時の措置

6.1. 個人の予防策、防護具および緊急措置

一般的措置:環境への製品の漏出を防ぐ。粉塵の発生および吸入を避ける。眼、皮膚または衣服への接触を避ける。熱、高温面、火花、裸火およびその他の発火源から遠ざける。喫煙しない。

カプチゾール／Advasep 7／SBE-AE-Beta-CD

安全データシート

連邦官報／77 巻、58 号／2012 年 3 月 26 日(月)に基づく／規則および規定

6.1.1. 非救急隊員用

防護具:適切な個人用防護具(PPE)を使用する。

緊急措置:不要な人員を非難させる。

6.1.2. 救急隊員用

防護具:清掃担当者に適切な防護具を着用させる。

緊急措置:第一応答者は現場に到着次第、危険物の存在を確認し、自身と一般人を防護し、現場を囲い、状況が許せば直ちに訓練された人員の援助を求める。

6.2. 環境に関する注意事項 下水や河川への流入を防止する。

6.3. 封じ込めと除染のための方法および用具

封じ込めの場合:固体状の漏出物を適切な障壁を設けて封じ込め、下水や河川への流入を防止する。漏出物の清掃中は粉塵の発生を避ける。

清掃の方法:漏出物を直ちに清掃し、安全に廃棄する。適切なフィルターを用いて、清掃中は防爆真空掃除機を使用する。他の資材と混合しない。真空清掃が望ましい。掃く必要がある場合は防塵剤を使用する。防爆工具のみを使用する。漏出後は所轄官庁に連絡する。

6.4. 他の章の参照

第 8 章、曝露管理および個人防護 第 13 章、廃棄上の注意

第 7 章: 取扱いおよび保管

7.1. 安全な取扱い上の注意点

処理に伴う追加的危険:発火源があると粉塵の蓄積および拡散は可燃性粉塵爆発を起こすおそれがある。粉塵レベルを最小限に抑え、適用される規制に従う。

安全な取扱い上の注意点:皮膚、眼および衣服への接触を避ける。粉塵の吸入を避ける。粉塵の発生または拡散を避ける。熱、火花、裸火、高温面から遠ざける。喫煙はしない。飲食や喫煙前や作業を終えた時に、手やその他の曝露した部分を刺激の少ない石けんと水で洗い流すこと。

衛生対策:業界の適切な衛生および安全措置に従って取り扱う。

7.2. 混触危険を含む安全な保管条件

技術的措置:該当する規制に準拠する。粉塵の発生または拡散を避ける。防爆型の電気機器、換気機器、照明機器を使用する。静電気が発生しないように適切な接地手順に従う。

保管条件:使用していない時は容器の蓋を閉めておく。乾燥した涼しい場所に保管する。直射日光、極端に高いまたは低い温度、および混触危険物質を避けて保管する。

混触危険製品:強酸、強塩基、強酸化剤。

7.3. 具体的な使用用途 賦形剤として使用される。

第 8 章: 曝露防止／個人の防護

8.1. 管理パラメータ

第 3 章に記載されているがここには記載されていない物質については、製造業者、供給会社、輸入業者、または以下を含む適切な顧問機関から確立された曝露限界の提示はない。ACGIH(TLV)、AIHA(WEEL)、NIOSH(REL)または OSHA(PEL)。

他に分類されていない微粒子(PNOC)		
米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)	ACGIH 上限値 (mg/m ³)	3 mg/m ³ 吸入性画分 10 mg/m ³ 総粉塵
米国労働安全衛生局 (OSHA)	OSHA 許容曝露限度 (上限値) (mg/m ³)	5 mg/m ³ 吸入性画分 15 mg/m ³ 総粉塵

8.2. 曝露防止

適切な工学的制御

: 緊急時の洗眼設備および緊急用シャワーを、曝露する可能性のある場所すべての近くで利用できるようにする。特に密閉されて区域では適切な換気を確保する。すべての国／地域の規則を必ず遵守する。静電気が発生しないように適切な接地手順に従う。防爆型機器を使用する。粉塵濃度を曝露限界未満に維持するために局所排気装置もしくは全体希釈換気、またはその他の抑制法を用いる。電源機器には適切な集塵装置を備えている必要がある。本製品の取扱いに関する局所排気装置や資材輸送システムなどの粉塵管理装置にはすべて爆発緩和口、爆発抑制システム、または酸素不足環境を含めることが推奨される。

カプチゾール／Advasep 7／SBE-AE-Beta-CD

安全データシート

連邦官報／77 巻、58 号／2012 年 3 月 26 日(月)に基づく／規則および規定

個人用防護具

：手袋。防護衣。防護ゴーグル。



防護衣の素材

：化学的耐性のある素材および繊維。

手の防護

：防護用手袋を着用する。

眼の防護

：耐薬品性の安全ゴーグル。

皮膚と身体の防護

：適切な防護衣を着用する。

呼吸器の防護

：曝露限界を超過したり、刺激を感じたりする場合は、認可された呼吸器防護具を着用する。

その他の情報

：この製品を使用する時は、飲食、喫煙はしない。

第 9 章：物理的および化学的性質

9.1. 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

物理的状态

：固形

外観

：白色～灰白色の粉末

臭い

：なし

臭い閾値

：データなし

pH

：4.0～6.8

蒸発速度

：データなし

融点

：データなし

凝固点

：データなし

沸点

：データなし

引火点

：データなし

自然発火温度

：データなし

分解温度

：データなし

引火性(固体、ガス)

：データなし

蒸気圧

：データなし

20°C での相対蒸気密度

：データなし

相対密度

：データなし

溶解性

：水に可溶性

分配係数:オクタノール／水分配係数

：データなし

粘度

：データなし

分子量

：2163

MAIT(粉塵層の最小自然発火温度)

：770°F (410°C) ASTM E1491

9.2. その他の情報

揮発性有機化合物(VOC)の内容

：<1%

第 10 章：安定性および反応性

10.1. 反応性:危険有害反応は通常の使用条件においては発生しない。

10.2. 化学的安定性:推奨される取扱いおよび保管条件下では安定(第 7 章を参照)。

10.3. 危険な反応の可能性:危険な重合は発生しない。

10.4. 避けるべき条件:過剰な粉塵蓄積。直射日光、極端に高いまたは低い温度、および混触危険物質。火光、熱、裸火およびその他の発火源。

10.5. 混触危険物質:強酸、強塩基、強酸化剤。

10.6. 危険な分解生成物:既知のものはない。熱分解により生じるもの:炭素、ナトリウムおよび硫黄の酸化物。硫黄酸化物は有毒である。

第 11 章：毒性情報

11.1. 毒性の影響に関する情報

急性毒性:分類なし

皮膚腐食性／刺激性:分類なし

重篤な眼損傷／刺激:分類なし

呼吸器感作性または皮膚感作性:アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。

生殖細胞変異原性:分類なし

カプチゾール／Advasep 7／SBE-AE-Beta-CD

安全データシート

連邦官報／77 巻、58 号／2012 年 3 月 26 日(月)に基づく／規則および規定

発癌性:分類なし

生殖毒性:分類なし

特定標的臓器毒性(単回曝露):分類なし

特定標的臓器毒性(反復曝露):分類なし

吸引の危険性:分類なし

吸入後の症状／影響:呼吸器系への刺激を起こすおそれがある。粉塵は有害となるおそれがあるか、刺激を起こすおそれがある。

皮膚に触れた後の症状／影響:発赤、疼痛、腫脹、そう痒、灼熱感、乾燥および皮膚炎。

眼に入った後の症状／影響:眼刺激を引き起こす可能性あり。

口から摂取した後の症状／影響:口からの摂取は有害ではなく、悪影響も生じない可能性が高い。

慢性症状:本物質の慢性影響は不明である。

第 12 章:環境影響情報

12.1. 毒性

生態系 - 一般 : 分類なし。

12.2. 持続性および分解性未確定

12.3. 生物濃縮性未確定

12.4. 土壌中の移動性追加情報は得られていない

12.5. PBT および vPvB の評価の結果追加情報は得られていない

12.6. その他の悪影響

その他の情報 : 環境への漏出を避ける。

第 13 章:廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

下水処理に関する推奨事項:排水路に流してはならない。本製品とその容器は安全な手段で廃棄すること。

廃棄物処理に関する推奨事項:内容物／容器を国際的な、および地区、地域、国の規則に従って廃棄すること。

追加情報:容器は空になっても依然として有害である可能性がある。引き続きすべての注意事項を守ること。

生態系 - 廃棄物:環境への漏出を避ける。

第 14 章:輸送情報

14.1. 交通省(DOT)に基づく輸送に規制なし

14.2. 国際海上危険物規則(IMDG)に基づく輸送に規制なし

14.3. 国際航空運送協会(IATA)に基づく輸送に規制なし

第 15 章:規制情報

15.1 米国連邦規制

カプチゾール／Advasep 7／SBE-AE-Beta-CD(182410-00-0)	
SARA 311/312 危険分類	即時(急性)健康被害 火災の危険性

15.2 米国の州規制本製品もその化学成分も米国のいずれの州リストにも記載されていない。

第 16 章:作成日または最終改訂日を含むその他の情報

改訂日 : 2016 年 2 月 4 日

その他の情報 : 本文書は、OSHA の危険有害性周知基準(29 CFR 1910.1200)の安全データシートに関する要件に従って作成されている。

GHS のテキスト全文:

可燃性粉塵	可燃性粉塵
皮膚感作性 1	皮膚感作性区分 1
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある

本情報は当社の最新の知識に基づくものであり、健康、安全性、環境要件のためのみに本製品を説明することを目的としている。したがって、本製品の特定の特性を保証するものと解釈してはならない。

SDS US (GHS HazCom)